

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2025
JANUARY & MARCH

Special
Concert

Sun. 5th January

No. 140

Sun. 23rd March
Niigata Subscription Concert

No. 728

Sat. 29th March
Subscription Concert

No. 99

Sun. 30th March
Kawasaki Subscription Concert

1 & 3



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

第1コンサートマスター	小林杏成
	グレブ・ニキティン
コンサートマスター	田尻 順

会長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理事	阿部武彦 辻 敏
	池辺晋一郎 永山 治
	伊藤美樹 畠野 剛
	大橋 博 南部靖之
	ゴシノジュン 福川伸次
	菅谷貴子 増岡聡一郎
	竹中平蔵 森 京子
監 事	寺西基之
	渡邊芳樹
評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 星 久人
評議員	鷺海量明 山添 茂
	片山泰輔 芳野まい
	加藤英輔
特別顧問	飯島延浩
	草壁悟朗
	福田紀彦

【ハーブ奇蹟：環境ステーション株式会社】

1st Violins

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 小山あずさ
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理

2nd Violins

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 加藤まな
- 福留史紀
- 河堀あずさ
- 鈴木浩司
- 辻田薫り
- 阿部貴真
- 坂井みどり
- 塩谷しずか

Violas

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 新井瑞穂
- 小西応興
- 鈴木まり奈

Cellos

- ☆伊藤文嗣
- 笹沼 樹
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行 ●
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子
- 渡邊ゆかり *

Double Basses

- 助川 龍
- コーディ・ローズブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子

Flutes

- 相澤政宏
- 竹山 愛

Flute & Piccolo

- 濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
- 荒木良太
- 浦脇健太

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子

Bassoons

- 福士マリ子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

Horns

- 上間善之
- 加藤智浩
- 白井有琳 *
- 藤田麻理絵 *

Trumpets

- 澤田真人
- 野沢岳史 ●
- 松山 萌
- ローリー デイラン *

Trombones

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 近藤陽一

Timpani & Percussions

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美
- 新澤義美

Harp

- 渡辺沙羅 *

Librarians

- 林 知也
- 加藤幸子

Stage Managers

- 西岡理佐
- 山本 聡

栄誉団員

- 井伊 準 ◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニアディレクター

藤原 真

編成局パーソネルマネージャー

謝名元 民

楽団委員

- 北村一平 (議長)
- 多井千洋 (書記)
- 相澤政宏
- 浦脇健太
- 鈴木浩司
- 福留史紀

事務局長

辻 敏

事務局

- 尾木貞雄
- 高瀬 緑
- 市川萌都
- 伊藤瑛海
- 榎 日向
- 小川博司
- 桐原美砂
- 長久保宏太朗
- 三橋真琴
- 山田道子
- ▼榊川純子

名譽団友
深江泰輔 ◆
三木靖雄 ◆

団 友

- 天野佳和
- 新井 汎
- 安藤史子
- 池田 暉
- 石川陽依世
- 今村和弘
- 岩澤淳子
- 上原正二
- 上原規照
- 上原茉莉
- 内田彬雄
- 内田乃剛子
- 宇部 美
- 梅田 学
- 大隅雅人
- 大塚正昭
- 大室展男
- 大和浩明
- 大和ルース
- 小川さえ子
- 萩野 昇
- 奥田昌史
- 昔川 健一
- 加藤信直
- 京原 ち
- 甲藤 ち
- 加藤信吾
- 金澤 茂
- 久保田一穂
- 熊谷仁士
- 黄原京司
- 小林照雄
- 小林利彰
- 小林亮子
- 阪本正彦
- 佐川聖二
- 佐々木真
- 藤崎 隆
- 菅野明彦
- 杉浦直基
- 鈴木一博
- 芹澤英雄
- 曾根敦子
- 高野成之
- 武田英昭
- 田中亮輔
- 千村雅信
- 十亀正司
- 豊山 悟
- 永井聖乃
- 中塚和良
- 中塚博樹
- 中山 智
- 西依碧子
- 大室展男
- 西脇芳治
- 野村真澄
- 馬場隆弘
- 原田美保子
- 白野 奏
- ペアン・マン
- ポーマン
- 前田健一郎
- 松崎里絵
- 丸山正昭
- 三浦正信
- 宮原祐子
- 宮本直樹
- 宮本 睦
- 森みさ子
- 諸橋健久
- 渡辺 功
- 渡辺哲郎
- 渡辺裕子

☆ソロ首席奏者 □客演首席奏者 ○首席奏者 ○フォアシュペラー ●インスペクター
■本部長 □部長 ▼シニアディレクター *研究員・準事務局員 ◆故人

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出している鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食は ご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

1/5 SUN.

特別演奏会「ニューイヤーコンサート2025」

2025年1月5日(日) 14:00 サントリーホール

Special Concert "New Year Concert 2025"

Sun. 5th. January 2025, 14:00 Suntory Hall

秋山和慶 [指揮]

小山実稚恵 [ピアノ]

小林孝成 [コンサートマスター]

AKIYAMA Kazuyoshi, Conductor

KOYAMA Michie, Piano

KOBAYASHI Issey, Concertmaster

J.シュトラウスⅡ：皇帝円舞曲

op.437 (10')

J.STRAUSS II : Emperor Waltz,

op.437 (10')

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番

変ホ長調 op.73 「皇帝」(38')

L.v.BEETHOVEN : Piano Concerto No.5

in E-flat major, op.73 "Emperor" (38')

I.アレグロ

II.アダージョ・ウン・ポコ・モッソ

III.ロンド：アレグロ

I. Allegro

II. Adagio un poco mosso

III. Rondo: Allegro

休憩(20')

Intermission(20')

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調

op.95 「新世界より」(45')

A.DVOŘÁK : Symphony No.9 in E minor,

op.95 "From the New World" (45')

I.アダージョ - アレグロ・モルト

II.ラルゴ

III.スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ

IV.アレグロ・コン・フォーコ

I. Adagio - Allegro molto

II. Largo

III. Scherzo: Molto vivace

IV. Allegro con fuoco

●主催/公益財団法人 東京交響楽団

●特別協賛/株式会社イノアックコーポレーション

楽曲解説はP.6をご覧ください

Innovation & Action

INOAC

1/5 SUN.



© 新田カヲ

AKIYAMA Kazuyoshi

Conductor

秋山和慶

[指揮]

Conductor Laureate

桂冠指揮者

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1964年に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース響音楽監督、大フィル首席指揮者、札幌首席指揮者、広響音楽監督、九響首席指揮者などを歴任。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。現在、中部フィル芸術監督・首席指揮者、センチュリー響ミュージックアドバイザー、岡山フィルミュージックアドバイザー、東響桂冠指揮者、広響終身名誉指揮者、九響桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授など多くの任を務めている。

2024年に指揮者生活60周年を迎えた。

Kazuyoshi Akiyama made his debut with the Tokyo Symphony Orchestra in 1964 and served as its music director and resident conductor for 40 years.

he served as Music Director of the American Symphony Orchestra, Music Director of the Vancouver Symphony Orchestra, and Music Director of the Syracuse Symphony Orchestra.

He has made guest appearances with many of the world's leading orchestras, including the New York Philharmonic, Boston Symphony, Cleveland Orchestra, Chicago Symphony, Cologne Radio Symphony, Berlin Radio Symphony, North German Radio Symphony, and Orchestre de la Suisse Romande.

He has received the Suntory Music Award, the Minister of Education's Art Encouragement Prize, the Osaka Art Award, the Mainichi Art Award, the Kyoto Music Award Grand Prize, etc.

He was awarded the Medal with Purple Ribbon in 2001, the Order of the Rising Sun in 2011, and was named a Person of Cultural Merit in 2014.

Akiyama currently holds the title of Conductor Laureate of the Tokyo Symphony Orchestra, the Kyushu Symphony Orchestra and the Vancouver Symphony Orchestra; Honorary Conductor for Life of the Hiroshima Symphony Orchestra,

and Permanent Conductor and Music Director of the Chubu Philharmonic Orchestra and Osaka Shion Wind Orchestra etc.

He is currently Artistic Director and special professor of Senzoku Gakuen College of Music, and Visiting professor of Kyoto City University of Arts. In 2024, he celebrated the 60th anniversary of his conducting career.



©Hideki Otsuka

KOYAMA Michie

Piano

小山実稚恵

[ピアノ]

圧倒的存在感をもつ日本を代表するピアニスト。チャイコフスキーコンクール、ショパン国際ピアノコンクール入賞以来、常に第一線で活躍。協奏曲のレパートリーは60曲を超え、国内外の主要オーケストラや指揮者からの信頼も厚く、多くの演奏会にソリストに指名される。

『12年間・24回リサイタルシリーズ』や『ベートーヴェン、そして...』が、その演奏と企画性で高く評価された。22年からはサントリーホール・シリーズ、第IシーズンConcerto<以心伝心>を25年まで開催。ショパン、チャイコフスキー、ロン＝ティボー、ミュンヘンなど、国際音楽コンクールの審査員も務める。東日本大震災以降、被災地でも演奏を行い、仙台では被災地活動の一環として自ら企画立案した「こどもの夢ひろば“ボレロ”」を毎年開催。

CDは、ソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び33枚をリリース。最新アルバム『モノローク』まで7作連続して「レコード芸術」特選盤に選ばれている。著書に『点と魂と』、平野昭氏との共著『ベートーヴェンとピアノ』(全2巻)がある。

17年紫綬褒章受章。

Michie Koyama is the only Japanese pianist who has won prizes at both Tchaikovsky and Chopin competitions. She has performed with numerous prestigious orchestras such as Montreal Symphony Orchestra, BBC Symphony, Berlin Symphony Orchestra, Tchaikovsky Symphony Orchestra of Moscow, Warsaw Philharmonic, among many others. Most recent project called "Beethoven (and then some)" in six major cities was highly acclaimed by not only her performance but also her programming. And she started Suntory Hall Concert series "Ishin Denshin" from Autumn 2022 to 2025. Since the Great East Japan Earthquake in 2011, Koyama continues to visit schools and public facilities in the affected areas to give performances. Furthermore in Sendai where she had grown up she started a project for children entitled "Bolero" in 2015.

Michie Koyama has been an exclusive recording artist with Sony Classical and released 33 CDs. Two discs of Beethoven's latest sonatas and "Monologue" have been released recently, which went on to receive a number of the awards.

The prizes include Grand Prize of the Agency for Cultural Affairs National Arts Festival (2005), award from the Ministry of Education in Art Encouragement Prizes (2016), and Medal of Honor with Purple Ribbon (2017).

1/5 SUN.

ヨハン・シュトラウスⅡ (1825 ~ 1899)

皇帝円舞曲 op.437

今年2025年はヨハン・シュトラウス2世の生誕200年。新年かつ“ワルツ王”のアンバーサリー・イヤーの幕開けでもある本日のコンサート、最初にお贈りするのが「皇帝円舞曲」だ。ウィenna・ワルツは現在ではユネスコの無形文化遺産に登録されているウィーン文化を象徴する音楽だが、「皇帝円舞曲」が誕生するきっかけはウィーンではなくドイツのベルリンだった。1889年10月、ベルリンの市場が改築されて新たにコンサートホールとして開館することになり、オープニングコンサートに招かれたヨハン2世がそこで披露するために作曲した新作のワルツが「皇帝円舞曲」である(実際の初演はオープニングコンサートではなく、その2日後)。ただし作曲当初の曲名は「皇帝円舞曲」ではなく「手に手をとって」だった。これは、ヨハン2世がベルリンを訪れる2か月前の8月、オーストリア皇帝フランツ・ヨーゼフ1世がベルリンを訪問し、ドイツ皇帝ヴィルヘルム2世と友好関係を示したことにちなんでつけた題で、ウィーンとベルリン、ひいてはオーストリア=ハンガリー帝国とドイツ帝国の親善を祝おうという晴れやかなワルツだ。その後、この曲の楽譜を出版するベルリンの出版社ジムロックが、両皇帝に捧げるワルツだということをセールスポイントにしようと考え、曲名の変更をヨハン2世に提案し、そして「皇帝円舞曲」となった。

曲は「ゆっくりとした行進曲のテンポで」と記された序奏で開始。フランツ・ヨーゼフ1世のベルリン訪問時に両皇帝はパレードをしているが、その様子を再現するかのように気品ある行進曲が進んでいく。そして曲の中心となるワルツのセクションになり、第1ワルツから第4ワルツまで、優美かつ高貴なワルツが繰り広げられる。

榊原律子 Text by SAKAKIBARA Ritsuko

作曲：1889年

初演：1889年10月21日ベルリン

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、シンバル、ハープ、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op.73「皇帝」

ピアノ協奏曲第5番「皇帝」は、言わずもがなの名曲だ。交響曲「運命」や「田園」を初演した直後に作曲が始められたとされる。しかし、完成後すぐには初演されず、しかもウィーンではなく現ドイツのライプツィヒで初演された。今回は、その初演について紹介しよう。1811年のライプツィヒの演奏会シーズンは、例年通り、9月29日の聖ミカエルの日に始まった。国際的な見本市の開催に合わせての開幕である。そして11月28日、そのシーズンの「第7回演奏会」で「皇帝」は初演されたのだ。演奏会はハイドンの二長調のシンフォニーで始まり、次いで、イタリア人作曲家フランチェスコ・モルラッキのオペラ「コッラディーノ」から、アリアや合唱などが歌われたあと、「皇帝」（プログラムには単にピアノフォルテ協奏曲」と記載）が演奏された。休憩後の後半はヴィンターのオペラ「コルマル」の序曲で始まり、モーツァルトの「フィガロの結婚」のフィナーレで終了となるプログラムだった。オーケストラの演奏会なのにオペラの抜粋ばかりなのは、当時の基本型。つまり、ごく普通の演奏会で、ごく普通に初演されたのである。

その演奏会の批評で「皇帝」は絶賛された。『総合音楽新聞』に掲載された評を引用しよう。「この世に存在する全ての協奏曲の中で、最も独自性が高く、最もファンタジー豊かで、最も演奏効果にあふれ、しかしながら、最も難しい作品であることに疑いの余地は無い。独奏をつとめた音楽監督のシュナイダー氏は、これ以上は考えられないというほど卓越した演奏を聴かせた。熟練度、明解さ、安定性、繊細さ、といった点だけではなく、精神的な意味でもすばらしかった。というのも、彼は、作品の隅々まで、全体的な構成はもとより、ひとつひとつの細かい部分まで、作品の意味、そして作品の意図まで完全に理解して演奏していたからだ。またオーケストラも、作曲家に対してははっきりとした愛と敬意をもって演奏し、作品およびソリストに、まったく思い描いたように寄り添った。演奏は、大勢の聴衆を、通常の賛辞の言葉では表現できないくらい熱狂させた。」

さて、この世に存在する全ての協奏曲の中で最も難しい「皇帝」は、メンデルスゾーンがロンドン・デビューした時の「持ち曲」だった。メンデルスゾーンは、ピアノパートを暗譜で演奏し、これが「皇帝」のロンドン初演となった。1829年6月24日のことである。

第1楽章 アレグロ

第2楽章 アダージョ・ウン・ポコ・モッソ

第3楽章 ロンド：アレグロ

小石かつら Text by KOISHI Katsura

作曲：1808年～1809年

初演：1811年11月28日ライプツィヒ

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

1/5 SUN.

アントニン・ドヴォルザーク (1841～1904)

交響曲 第9番 ホ短調 op.95「新世界より」

交響曲第9番《新世界より》は、アントニン・ドヴォルザークがナショナル音楽院(私立学校)の院長としてアメリカで活動し始めた頃にニューヨークで作曲された。

この交響曲では、ベートーヴェンやブラームスの流れを汲む交響曲に見られる高度な構築性が実現されるとともに、アメリカ先住民の民俗音楽や黒人霊歌を想起させる音楽的要素が、アメリカの土俗的な風合いを出すための「彩色」として用いられている。興味深いことに、第2楽章と第3楽章を作曲する際には、アメリカの詩人ヘンリー・ロングフェロー(1807～1882)がアメリカ先住民の伝説に基づいて書いた叙事詩『ハイアワサの歌』(1855)を着想源とした。

第1楽章 アダージョー アレグロ・モルト 序奏を伴うソナタ形式。ホルンによる第1主題と木管楽器による第2主題が提示されたのちに、主として提示部の末尾でフルートが奏でる主題を用いた展開部が続く。定石通りの再現部を経たのちに、第1主題に基づくコーダへ進む。

第2楽章 ラルゴ 短い序奏ののちに、イングリッシュホルンが有名な主題を奏でてゆく。ドヴォルザークは、『ハイアワサの歌』のうち、主人公ハイアワサとミネハハという女性との婚約を描いた第10章と、ミネハハの葬儀を描いた第20章をこの楽章の着想源としていた。

第3楽章 スケルツォ：モルト・ヴィヴァーチェ 2つのトリオを持つスケルツォ楽章。ここでは、『ハイアワサの歌』第11章で語られる、ハイアワサとミネハハとの結婚式を祝う踊りが描写されている。

第4楽章 アレグロ・コン・フォーコ 序奏を伴うソナタ形式。弦楽器を主体とした短い序奏ののちに、ホルンとトロンボーンによる有名な第1主題と、クラリネットとフルートとチェロを主体とした第2主題による提示と展開が行われる。その後、第1楽章から第3楽章の主題も加わった新たな展開と、トロンボーンが第1主題を吹くところから始まる再現部を経て、全曲が華やかに締めくくられる。

中村 真 Text by NAKAMURA Makoto

作曲：1892年12月末～1893年5月末

初演：1893年12月16日ニューヨーク、アントン・ザイドル指揮、ニューヨーク・フィルハーモニック協会管弦楽団

編成：フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、イングリッシュホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、バスチューバ1、ティンパニ、シンバル、トライアングル、弦5部

3/23 SUN.

新潟定期演奏会 第140回

2025年3月23日(日) 17:00 リューとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

Niigata Subscription Concert No.140

Sun. 23rd March 2025, 17:00 Ryutopia Concert Hall

秋山和慶 [指揮]

鈴木愛美 [ソプラノ]

郷家暁子 [メゾソプラノ]

田中裕太 [テノール]

妻屋秀和 [バス]

にいがた東響コーラス [合唱]

辻 博之 [合唱指揮]

田尻 順 [コンサートマスター]

AKIYAMA Kazuyoshi, Conductor

SUZUKI Manami, Soprano

GOKE Akiko, Mezzo Soprano

TANAKA Yuta, Tenor

TSUMAYA Hidekazu, Bass

Niigata Tokyo Symphony Chorus, Chorus

TSUJI Hiroyuki, Chorusmaster

TAJIRI Jun, Concertmaster

ベートーヴェン:「エグモント」序曲(9')

L.v.BEETHOVEN: Egmont Overture (9')

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調
op.125「合唱付」(70')L.v.BEETHOVEN: Symphony No.9
in D minor, op.125 "Choral" (70')

I.アレグロ・マ・ノン・トロppo、ウン・ポコ・マエストロ

I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

II.モルト・ヴィヴァーチェ・プレスト

II. Molto vivace - Presto

III.アダージョ・モルト・エ・カンタービレ

III. Adagio molto e cantabile

IV.プレスト・アレグロ・アッサイ

IV. Presto - Allegro assai

●主催/公益財団法人新潟市芸術文化振興財団、TeNYテレビ新潟

新潟定期演奏会は、新潟市からの補助金の交付を受けて実施しています。

本公演には休憩がありません。

秋山和慶のプロフィールはP.4をご覧ください。

楽曲解説はP.11をご覧ください



RYUTOPIA

RYUTOPIA CONCERT HALL

3/23 SUN.

SUZUKI
Manami

Soprano

鈴木愛美
[ソプラノ]

©TAKUMI JUN

国立音楽大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学大学院を最優秀で修了。シェーンブルン宮殿劇場、ウィーン楽友協会演奏会、新国立劇場に出演の他、「天地創造」、フォーレ「レクイエム」、「カルミナ・ブラーナ」等のソリストとしても活躍。文部科学大臣賞、朝日新聞社賞受賞。長岡市出身。新潟大学音楽科准教授。二期会会員

GOKE
Akiko

Mezzo Soprano

郷家暁子
[メゾソプラノ]

©Yoshinobu Fukaya / aura.Y2

東京藝術大学大学院オペラ科首席修了。日生劇場『ハンゼルとグレーテル』ハンゼル、二期会『フィガロの結婚』ケルビーノ、『こうもり』オルロフスキー、新国立劇場『修道女アンジェリカ』修道女長等出演。24年新国立劇場『エフゲニー・オネーギン』ラーリナで好評を博した。「第九」や宗教曲のソリストとしても多数出演。二期会会員

TANAKA
Yuta

Tenor

田中裕太
[テノール]

©T.Tairadata

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業後、イタリアにて研鑽を積む。同大学院修士課程在籍。第58回日伊声楽コンクール入選。トスティ歌曲コンクール2023第3位。第73回藝大メサイアをはじめ、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」、プッチーニ「グローリアミサ」等のソリストを務める。品川学藝高等学校声楽専攻非常勤講師。

TSUMAYA
Hidekazu

Bass

妻屋秀和
[バス]

ライプツィヒ歌劇場、ワイマールのドイツ国民劇場の専属歌手をつとめ、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ等にも出演。日本でもその深みのある柔らかな歌声と重厚な演技で新国立劇場やびわ湖ホール等のオペラ公演のほか、オーケストラ作品、宗教曲のソリストとして活躍を続けている。

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

「エグモント」序曲

英雄の存在は、芸術創作に大きな影響を与えるもの。ナポレオンという英雄と同時代に生きたベートーヴェンがナポレオンを契機に交響曲第3番「英雄」を作曲したことは有名だが、劇音楽「エグモント」もナポレオンと関係する社会的背景から誕生している。そして作品自体も、ある英雄を描いたものである。

1809年4月、オーストリア軍はナポレオン率いるフランス軍を攻撃するが、その後フランス軍にウィーンを占拠され、降伏。10月に講和条約を締結する。そんな状況下で、宮廷劇場の支配人ヨーゼフ・ハルトルは2作の芝居の上演を計画する。それは、シラーの「ヴィルヘルム・テル」(1804年)とゲーテの「エグモント」(1788年)。どちらも祖国が自由を勝ち取る物語であり、これらで市民を鼓舞しようと考えたのだ。ハルトルは2人の作曲家にそれぞれの戯曲の音楽を書いてもらおうと企画し、「ヴィルヘルム・テル」は宮廷作曲家で宮廷劇場指揮者のアドルベルト・ギロヴェッツに依頼。そして「エグモント」の作曲者としてベートーヴェンに白羽の矢を立てた。

ゲーテの「エグモント」は、オランダの英雄ラモラル・ファン・エグモント(蘭語ではエフモント)伯(1522～68)をモデルにした5幕からなる悲劇。エグモントは、スペインの支配下にあった低地諸州(ネーデルラント)が独立を勝ち取るオランダ独立戦争(八十年戦争/1568～1648)へと導いた人物で、スペインの弾圧に抵抗したため大逆罪で捕まり、1568年6月にブリュッセルで処刑された。戯曲ではハインリヒ・エグモント伯爵という名で描かれ、恋人クレールヒェン(実際のエグモントには妻子がいたが、戯曲では恋人の設定)は捕らえられたエグモントを救うことができず絶望のあまり自殺。処刑の前夜、エグモントは夢の中で、女神となったクレールヒェンの幻影に“勝利者”だと讃えられ、朝、処刑場へ向かうところで幕となる。そんな劇にベートーヴェンは序曲と9つの曲を作曲したが、公演初日に序曲の作曲が間に合わず、公演4日目に初めて音楽付きで上演された。

序曲は劇的な「ファ」の音で始まり、エグモントの揺るがぬ信念を表現するような厳かな響きと、ネーデルラントの人々の苦悩を表すような嘆きの旋律による導入ののち、主部のアレグロへ。焦燥に駆られるような主題によって、力強くリズムカルに展開していく。最後は、劇の第9曲「勝利の交響曲」が登場してへ長調になり、輝かしく締めくくる。

榊原律子 Text by SAKAKIBARA Ritsuko

作曲：1809～1810年

初演：1810年6月15日ブルク劇場

編成：フルート2(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ、弦5部

3/23 SUN.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付」

いつの時代も聴く人の心を揺さぶり続け、昨年2024年に初演200年を迎えた「第九」こと交響曲第9番「合唱付」は、ベートーヴェンの交響曲の中で最大の楽器編成、最長の演奏時間、そして独唱4人と合唱が加わるという、交響曲のジャンルでの金字塔的な作品だ。作曲のきっかけは、交響曲第8番作曲から5年後の1817年、ロンドンのフィルハーモニー協会からの依頼だった。その依頼内容は、翌シーズンに初演する新しい交響曲2曲の作曲、そしてベートーヴェンをロンドンへ招待するというもの。ベートーヴェンは引き受けてスケッチを開始するが、体調が思わしくないため渡英計画は取りやめ、さらに交響曲の作曲も中断。1822年に再びロンドンから、今度は交響曲1曲のみの依頼が来て、ベートーヴェンは「ミサ・ソレムニス」、「ディアベリ変奏曲」と晩年の傑作を次々に作曲しつつ、交響曲の作曲を再開し、「第九」を完成させた。

第4楽章で歌われるフリードリヒ・シラーによる頌詩「歡喜に寄す」(1785年)について、ベートーヴェンは故郷ボンにいた1790年頃から知っていて、この詩に作曲したいと長年思い続けていた。それがついに実現したのが「第九」である。「歡喜に寄す」の前には、「こんな音楽はよそう!」と第1～3楽章の音楽を打ち消す言葉をベートーヴェン自身が書き加えており、「歡喜に寄す」こそが「第九」で最も伝えたい音楽であるというベートーヴェンの熱い思いも伝わってくる構造が実にユニークだ。

調を明確に示すことを避けた神秘的な響きで始まり、劇的な下降音型による第1主題と穏やかな第2主題とで力強く展開していく**第1楽章**。オクターヴの跳躍を伴うリズムカルな主題でカノン風に始まるスケルツォの**第2楽章**。抒情的な主題による優美な変奏曲の**第3楽章**。そして**第4楽章**は、第1～3楽章が回想されたのちに「歡喜に寄す」が登場。「人はみな兄弟となる」と人類愛を謳い上げながら、トルコ行進曲、コラル風の音楽、二重フーガなどを用いて円熟の極みの音楽が展開し、輝かしいフィナーレとなる。

榊原律子 Text by SAKAKIBARA Ritsuko

作曲：1818年、1822～1824年

初演：1824年5月7日ウィーン

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、トライアングル、シンバル、大太鼓、弦5部、独唱(ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バス)、混声合唱

L.v.BEETHOVEN:
Symphony No.9 in D minor op.125“Choral”

[歌詞対訳]

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付」

訳: 船木篤也

**As "Ode an die Freude"
von Friedrich Schiller**

Bass Solo

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern lasst uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere!

Bass Solo & Chorus

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmliche, dein Heiligtum.
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Quartet & Chorus

Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein;
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen
An den Brüsten der Natur,
Alle Guten, alle Bösen
Folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben,
Einen Freund, geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
Und der Cherub steht vor Gott.

Tenor Solo & Chorus

Froh, wie seine Sonnen fliegen
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet, Brüder, eure Bahn,
Freudig wie ein Held zum Siegen.

Chorus

Seid umschlungen, Millionen!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
Brüder über'm Sternenzelt
Muss ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn über'm Sternenzelt,
Über Sternen muss er wohnen.

**フリードリヒ・シラー
「歓喜に寄す」より**

バス独唱

おお友よ、こんな音楽はよそう!
ここからは、もっと快い、喜ばしい
音楽を始めようではないか! (ベートーヴェン作)

バス独唱と合唱

喜びよ、神々のうるわしき火花よ
エリュシオンの娘よ
われらはその火花に酔いしれ
この上なきお前、お前の聖域に入るう
お前の魔力は、この世のしきたりが
容赦なくひき裂いたものを、ふたたび結びつけてくれる
人はみな兄弟となる
お前の翼が、そっと憩うところぞ

四重唱と合唱

ある者の友となる
幸せを得た者は
やさしい妻を手にした者は
この歓呼に加わりたまえ!
そう、ただ一人でもかまわない
この地球上に、自分のものと呼べる人があるならば!
それがどうしてもできない者は、ひっそりと
涙して、この同盟から出てゆくがよい!

生きとし生けるもの、喜びを
自然の乳房よりすする
善人も、悪人も
自然が敷く、ばら色の道をゆくばかり
自然はわれらに、幾多のくちづけを、たわわなる葡萄を
死を耐えぬいた友を与えてくれた
虫にも快樂が分け与えられたのだ
智天使ケルブが、神の御前に立っている!

テノール独唱と合唱

意気揚々、星々が
天の輝かしい軌道を、飛びめぐるように
ゆけ、兄弟たちよ、おのれの道を
喜び勇んで、勝利にむかう英雄のように!

合唱

抱かれてあれ、もろ人よ!
この口づけを、全世界に!
兄弟たちよ、天穹(てんきゅう)のかなたに
愛する父は、おられるはず

もろ人よ、ひれ伏しているか?
人の世よ、かの創造者を予感するか?
天穹(てんきゅう)のはるかかなたに、求めるがよい
星辰(せいしん)のかなたに、かの人はおられるはず

3/29 SAT. 30 SUN.

第728回 定期演奏会

2025年3月29日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.728

Sat. 29th. March 2025, 18:00 Suntory Hall

川崎定期演奏会 第99回

2025年3月30日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

Kawasaki Subscription Concert No.99

Sun. 30th. March 2025, 14:00 Muza Kawasaki Symphony Hall

オスモ・ヴァンスカ [指揮]
 イノン・バルナタン [ピアノ]
 グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Osmo VÄNSKÄ, Conductor
 Inon BARNATAN, Piano
 Gleb NIKITIN, Concertmaster

ニールセン:序曲「ヘリオス」op.17 (12')

C.NIELSEN: Helios Overture op.17 (12')

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第3番
 八短調 op.37 (34')

L.v.BEETHOVEN: Piano Concerto No.3
 in C minor, op.37 (34')

I.アレグロ・コン・ブリオ
 II.ラルゴ
 III.ロンド・アレグロ

I. Allegro con brio
 II. Largo
 III. Rondo: Allegro

休憩(20')

Intermission(20')

プロコフィエフ:交響曲 第5番
 変ロ長調 op.100 (46')

S.PROKOFIEV: Symphony No.5
 in B-Flat major, op.100 (46')

I.アンダンテ
 II.アレグロ・モデラート
 III.アダージョ
 IV.アレグロ・ジョコーゾ

I. Andante
 II. Allegro moderato
 III. Adagio
 IV. Allegro giocoso

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/川崎市(3/30)、「音楽のまち・かわさき」推進協議会(3/30)、フィンランド大使館
- 協力/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)(3/30)

楽曲解説はP.18をご覧ください



MUZA
 KAWASAKI
 SYMPHONY HALL

3/29 SAT. 30 SUN.



Osmo VÄNSKÄ

Conductor

オスモ・ヴァンスカ
[指揮]

フィンランドを代表する世界的名匠。米国ミネソタ管第10代音楽監督を19年務め、現在は桂冠指揮者。フィンランド・ラハティ響桂冠指揮者、アイスランド響名誉指揮者。クラリネット奏者としてキャリアをスタートさせヘルシンキフィル首席奏者を務めたことでも知られる。幅広いレパートリーと説得力ある解釈、指揮台でのエネルギーある存在感は圧倒的。録音も多く、グラミー賞受賞やグラモフォン・オブ・ザ・イヤーにも選ばれるなど高い評価を得ている。ミネソタ管弦楽団とは、キューバや南アフリカへの画期的なツアーを行い、2018年夏のBBCプロムスで指揮をし絶賛された。

今シーズンは、モンテリオール管、ケルン・ギュルツェニヒ管、ピッツバーグ響、サンディエゴ響、フィルハーモニア管、アントワープ響、ベルゲン・フィルハーモニー管を指揮する。ヴァンスカはまた、長年のパートナーであるミネソタ管弦楽団、アイスランド交響楽団、ラハティ交響楽団を指揮する。

Conductor Laureate of Minnesota Orchestra, where he held the Music Directorship for 19 years, and Music Director of Seoul Philharmonic Orchestra from 2020-2023, Osmo Vänskä is recognised for his compelling interpretations of repertoire of all ages and an energetic presence. His democratic and inclusive style of work has been key in forging long-standing relationships with many orchestras worldwide.

A distinguished recording artist for the BIS label, Vänskä and Minnesota Orchestra have recorded the complete symphonies of Beethoven Mahler, and Sibelius to critical acclaim, winning a Grammy Award for Best Orchestral Performance in 2014.

Vänskä is the recipient of a Royal Philharmonic Society Award, the Finlandia Foundation's Arts and Letters award, and the 2010 Ditson Award from Columbia University and the Pro Finlandia medal awarded to him by the State of Finland.



©Marco Borggreve

Inon BARNATAN

Piano

イノン・バルナタン
[ピアノ]

「同世代で最も称賛されるピアニストの一人」(ニューヨーク・タイムズ紙)であるイノン・バルナタンは、その詩的な感性、音楽的知性、完璧な芸術性で賞賛されている。世界有数のオーケストラや指揮者の常連ソリストであり、ニューヨーク・フィルハーモニックの第1回アーティスト・イン・アソシエーションを3シーズンにわたり務めた。

2019-20年シーズンには、カーネギーのザンケルホールとロンドンのウィグモアホールでソロリサイタルを行った。日本には2016年1月、アラン・ギルバート 指揮 / 東京都交響楽団のソリストとして招かれ、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第3番を共演、絶賛を博した。その結果、2017年4月にも招かれ、東京と大阪でラフマニノフのパガニーニ狂詩曲を共演、2018年6月には東京でリサイタルデビューを果たした。2023年11月には、小泉和裕 指揮 / 東京都交響楽団とチャイコフスキーを、2024年4月には東京・春・音楽祭でのリサイタルを中心としてリサイタルツアーを行った。

“One of the most admired pianists of his generation”
(New York Times),

As a soloist, Barnatan is a regular performer with many of the world’s foremost orchestras and conductors, and he was the inaugural Artist-in-Association of the New York Philharmonic. Equally at home as a curator and chamber musician, Barnatan is Music Director of La Jolla Music Society Summerfest in California, one of leading music festivals in the country, and he regularly collaborates with world-class partners such as Renée Fleming and Alisa Weilerstein.

Barnatan’s 2022-23 season highlights include concerto performances in the U.S. with the Los Angeles Philharmonic, Philadelphia Orchestra, Boston Symphony Orchestra, Atlanta Symphony, San Diego Symphony, and others, and internationally with the Royal Liverpool Philharmonic, Royal Stockholm Philharmonic. Barnatan will give solo recitals in London, Kansas City, Aspen and Santa Fe, and play chamber music at festivals through the USA.

3/29 SAT. 30 SUN.

カール・ニールセン(1865～1931)

序曲「ヘリオス」op.17

万物創造を思わせる神秘的な低弦に導かれ、ホルンが夜明けの情景を呼び交わす。

Heliosヘリオスとは、ギリシャ神話の太陽神のこと。芸術、それに光明を司る神アポロンと同義だ。

近年録音や演奏の機会が増えているデンマークの国民的な作曲家カール・ニールセンの人気作のひとつ。それがエーゲ海に昇り、沈む太陽から靈感を受け、1903年春に創られたコンサート用の序曲「ヘリオス」である。デンマーク放送では新年を寿ぐ音楽だった。

創作の背景に旅あり。著名な彫刻家で妻のアンネ＝マリ・ブロードセルセンの影響もあり、かねてから地中海沿岸の文化や考古学にも関心があったニールセンは1902年、彼の創作に理解を示していた音楽出版社の計らいでギリシャを訪問することが出来たのだった。

スコアに次のように書かれている。「沈黙と暗闇。太陽は賛美の喜ばしい歌とともに昇り、その黄金の道をさすらい、静かに海へと沈む」。曲は1903年10月、かねてからニールセンの才能を高く評価していたノルウェーの作曲家ヨハン・スヴェンセン(1840～1911)指揮のデンマーク王立(歌劇場)管弦楽団により初演された。

フィンランドの英雄シベリウスと同じ1865年生まれのニールセン(古都オーデンセのあるフン島の出身)は、少年期からホルネットの演奏に才能を示し、作曲家として自立するまでは、前述のデンマーク王立管(世界最古のオーケストラ)でヴァイオリンを弾いていた。大自然の神秘をも映し出す序曲「ヘリオス」は、古巣の楽団でノルウェーの大作作曲家のタクトにより初演されたわけで、これはニールセンにとっても忘れがたい作品となった。

ちなみに、再評価の機運が著しい交響曲第2番「4つの気質」、第3番「エスパンシヴァ(広がり)の交響曲」、日本語では「不滅」となった第4番「消しがたきもの」、スネアドラムも活躍する第5番、最後の第6番「センプリーチェ(素朴な交響曲)」は、ニールセン自身指揮のデンマーク王立管弦楽団により初演されている。

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲：1902～03年

初演：1903年10月コペンハーゲン、ヨハン・スヴェンセン指揮、デンマーク王立管弦楽団

編成：フルート3(ピッコロ持替1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バスチューバ1、ティンパニ、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 op.37

ピアノ協奏曲第3番の初演は1803年だが、実は、その時には出来上がっておらず、ベートーヴェン本人がピアノ独奏をすることで乗り切ったらしい。楽譜が完成しての初演は1804年で、弟子のフェルディナンド・リースによるピアノ独奏だった。その間のちょうど1803年8月、ボン時代の旧友アントン・ライヒャのはからいで、ベートーヴェンはフランスのエラール社から新しいピアノを贈られた。この最新型のピアノは68鍵あり(現在のピアノは88鍵)、音域は5オクターブ半。全音域で重弦が張られ、ダイナミック・レンジが大きく、また現代のピアノと同じように、足で踏むペダルでダンパーを上げ下げできて、音の響きを伸ばすことが可能になった。この時期に作曲されたピアノソナタ第21番の「ワルトシュタイン」の第3楽章では存分にこの機能が使われており、第23番の「熱情」では68鍵の最高音のドが使われている。この新しいピアノへの興奮の中での、ピアノ協奏曲第3番は、オーケストラとピアノが交互に演奏するだけでなく、同時に演奏する部分が多く、しかも同時であるにもかかわらず、ピアノが主役となるという在り方を見事に実現している。細かいトリルがキラキラと輝くのも、ダンパーの制御が可能になったことによる。

第1楽章はオーケストラでの提示のあと、劇的な集中力を持ったソロで始まる。第1主題は交響曲第5番《運命》の最終楽章を先取りしているとも言われている(ハ短調での提示をハ長調にすると《運命》と同じになる)。**第2楽章**は、第1楽章が調子記号としてフラットが3つあるハ短調なのに、シャープが4つのホ長調で書かれていて、意表をつく組み合わせだ。**第3楽章**はハ短調の冒頭の減7度の下行が緊張感をもたらす。トルコ風のリズムがたたく出現し、さらに長調と短調を何度も行き来しながら高揚していくのだが、最後、ハ長調に安定してからの煌びやかで大胆なピアノソロは、やはり、エラールのピアノあってこそものだろう。

小石かつら Text by KOISHI Katsura

作曲：1796～1803年および1804年

初演：1803年4月5日アン・デア・ウィーン劇場、作者自身による独奏

編成：独奏ピアノ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ、弦5部

3/29 SAT. 30 SUN.

セルゲイ・プロコフィエフ(1891～1953)

交響曲 第5番 変ロ長調 op.100

当時は帝政ロシア、現在はウクライナ、ドネツク州のソツォフカに生まれたプロコフィエフは、ペテルブルクで学び、活動したのち、1918年に日本経由でアメリカへ渡って欧米で活躍後、1936年にソヴィエト連邦に完全帰国するという、時代の大きな変化の中で創作を続けた作曲家だ。その人生で7曲の交響曲を遺したが、第5番は、第4番から14年ぶりに手がけた交響曲、そして彼がソヴィエト帰国後に書いた最初の交響曲である。

欧米では前衛的な音楽を作曲していたプロコフィエフだが、帰国したソヴィエトでは西欧のモダニズムは敵視され、社会主義リアリズムの芸術、そして“わかりやすい”音楽が求められた。そんなソヴィエトでどんな作品を書くべきか模索しながら、第二次世界大戦の最中、オペラ「戦争と平和」、バレエ「シンデレラ」といった大作を作曲。交響曲第5番もその時代に書かれた彼の代表作の1曲だ。

プロコフィエフは、自作の中の良い素材は再度使うべきと考えた人で、交響曲第3番はオペラ「炎の天使」を、第4番はバレエ「放蕩息子」を基に作曲。交響曲第5番では、第2楽章はバレエ「ロメオとジュリエット」から破棄したハッピーエンドの音楽を、第3楽章は未完の映画「スペードの女王」のために作曲した音楽を用いつつ創作している。

プロコフィエフによれば第5番のテーマは「人類の精神の勝利」。エネルギーに満ちた音楽であると同時に、ソヴィエト時代のプロコフィエフならではの旋律美も魅力的な交響曲である。

第1楽章 3拍子の穏やかな第1主題がフルートとファゴットで始まり、フルートとオーボエによる4拍子の抒情的な第2主題ではいきいきとしたテンポで音楽が進んだのちに、おどけたモチーフが登場。これらの主題を使いながら壮麗な音世界を展開する。

第2楽章 8分音符のリズムが鋭く刻まれる中、クラリネットの主題から始まるスケルツォの楽章。中間部は軽快なワルツが繰り広げられる。

第3楽章 情感豊かなアダージョ。中間部では悲劇的に高まったのち、静寂へ戻る。

第4楽章 木管楽器の朗らかな歌と、弦楽器が奏でる第1楽章第1主題が呼応したのち、クラリネットによる陽気な主題で始まるフィナーレ。軽快なモチーフ、フルートの美しい主題、低弦による伸びやかな主題が次々に登場、展開して、力強いクライマックスへと進む。

榊原律子 Text by SAKAKIBARA Ritsuko

作曲：1944年

初演：1945年1月13日モスクワ音楽院にて、作曲者自身の指揮、モスクワ国立交響楽団

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、小クラリネット1、クラリネット2、バスクラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ2、ウッドブロック、タンブリン、トライアングル、小太鼓、シンバル、大太鼓、タムタム、ハープ1、ピアノ1、弦5部



Jonathan Nott

Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

音楽監督

ジョナサン・ノットが語る

2025/26

LAST
SEASON
Overview

聞き手: 後藤菜穂子 Nahoko GOTOH

— 来シーズンのプログラム全体を貫くテーマ
はありますか？

シーズンを通して、もちろん「円環を閉じる」という面はあります。音楽監督としての最後の定期演奏会では、2014年の就任演奏会で演奏したのと同じ曲目、すなわち武満徹の「セレモニアル」とマーラーの交響曲第9番を演奏します。その意味では、一つの章を閉じるにあたってこれまでを振り返るという気持ちもあります。でも基本的には、自分にとっての最後のシーズンをみなさんと祝いたいと思っています。愛するみなさんとお別れに際して、敢えて「祝う」という言葉を使いたいのです。

— ラスト・シーズンはブルックナーの交響曲第8番で幕を開けます。

東響とはブルックナーの交響曲は、第6番以外はすべて演奏しました。ブルックナーにふさわしい深みのあるサウンドが可能だと思ったからです。前回、第8番を演奏したとき [2016年。ライブ録音あり] はノヴァーク版第2稿で演奏しましたが、今回は初稿版を取り上げることにしました。この版はまだ指揮したことないのですが、私にとって興味深いのは、より長く、変化に富んだ旅になることです。すなわち同じ山を登るにしても、遠回りのコースを取るようなものでしょうか。きっと、より詩的な演奏で、人生の哀切について振り返る旅になるでしょう。

ブルックナーとマーラーの違いについてはこれまでも話してきましたが、私の中で

は時を経るにつれて、ふたりはより近づいてきたように感じられます。そして個人的には、ブルックナー第8番の初稿版はよりマーラーに近いと感じます。なぜなら、こちらのほうが人生への問いを呈しているからです。ここでは最後まで——最後の小節ですら——リタルダンドがありません。

このように、シーズンの初めと終わりにマーラーの第9番とブルックナーの第8番という、相反するともいえる二つの巨大な柱が対峙しているわけですが、私としてはそれらは同じストーリーの別バージョンであるべきだと考えています。そしてこの二作のあいだに、この旅のさまざまな段階があるのであるのです。

—ブリテンの《戦争レクイエム》を選ばれた意図は？

お別れのシーズンにはレクイエムがふさわしいと感じます。ですから、ブリテンの《戦争レクイエム》を選びました。

2025年は、第二次世界大戦の終戦80周年にあたるため、それを記念した選曲でもあります。ブリテンがこの作品の初演のときに意図したように[注：初演では実現しませんでした]、3人の独唱者に英国人(テノール)、ドイツ人(バリトン)、ロシア人(ソプラノ)を配ることができました。こうした国々の人々がつどうことは今なおとても重要なことだと思っています。また、私にとっては母国の音楽ですし、ウスター大聖堂の聖歌隊員だったときに少年合唱で歌った思い出の曲でもあります。

これまでも東京交響楽団とは、モーツァルト、フォーレ、デュリュフレ、リゲティなど何作ものレクイエムを取り上げてきましたが、レクイエムには別れの悲しみと同時に、どこか希望もあると私は思っています。人生には別れはつきものですが、それと同時に未知の新しい扉が開かれることへの喜びがあるべきだと思うのです。

そこで、別れの悲しみとのバランスを取るために、この上なくポジティブな音楽であるモーツァルトの交響曲第41番「ジュピター」やどんちゃん騒ぎのリゲティの「マカーブルの秘密」、さらにラヴェルのオペラ《子どもと魔法》などの楽しい作品を選んでみました。

—バッハの《マタイ受難曲》にはどんな思いがこめられているのでしょうか。

実は、これまで《マタイ受難曲》をいちども指揮したことがなく、今回は未知の世界に飛び込むこととなります。聖歌隊時代に児童合唱として何度も歌ったことはありますが、指揮者としていったいどう演奏したらよいのか、見当もつかないので、オーケストラとすばらしい東響コーラスのみなさんとともに、どのように演奏するか探っていきたいと思います。注目のテノールのゼバスティアン・コールハップ(エヴァンゲリスト)を始め、ミヒャエル・ナジ、アンナ・ルチア・リヒターら、すばらしい独唱者も揃っています。日本にはバッハの演奏のすばらしい伝統がありますから、きっと良い演奏にできるでしょう。

ーノットさんはいつも同時代の音楽を巧みにプログラミングされてきましたが、今回はラッヘンマンを取り上げます。

東響は現代音楽に関して前衛的な姿勢をもっており、過去にラッヘンマンの《マッチ売りの少女》の日本初演を行いました。そのラッヘンマンが2025年に90歳の誕生日を迎えるので、来季は彼の作品を取り上げたいと思いました。8本とホルンと管弦楽のための「マイ・メロディーズ」(2018)は、私が東響と取り上げる初のラッヘンマンになります。この作品は、私たちの時代のきわめて重要な作曲家による比較的最近の大作であり、現代性のさらに先を指し示す作品ともいえます。

ーノットさんのオペラ・シリーズの最後を飾るのは、ラヴェルの《子どもと魔法》です。

このフランスもののプログラムは、私が2010年2月に最初に東響を振った曲目へのオマージュとして構成しました。

《子どもと魔法》は幻想的なオペラで、とくに動物たちが登場する第二部は、現実世界とはまったく違う世界を描いていま

す。ある意味、ラヴェルは私たちがあちらの世界から逃れられないことを示しているのかもしれませんが。主人公の子どもは、怪我をしたリスに優しさを示したことで、ようやく現実世界に戻ってこられるのです。このオペラの寓話性は、単なるおとぎ話を超えるものだと思います。オペラのもつあの世とこの世、陰と陽というテーマは、最後の定期演奏会で取り上げるマーラーへとつながります。

マーラーの交響曲第9番は別れを扱った作品であり、最初から最後まで音楽は死への恐れを描き、でも最後の瞬間までそれに抗います。別れを告げることの悲しみと同時に未知への喜び。これが私の最後のシーズンのテーマなのです。

この作品についての自分の思いを短い時間で話すのは難しいのですが、パンデミック中にスイス・ロマンド管とマーラーの第9番の動画を収録(無観客)し、合わせて曲についてのメイキング動画を撮って、そこで曲についての私の解釈をたっぷり語っていますので、ご関心のある方はぜひご覧になってください。



スイス・ロマンド管
公式YouTube
《マーラー：交響曲第9番》
メイキングビデオ

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新業株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
税理士法人渡邊芳樹事務所

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティスト ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社



©N Ikegami

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのため不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典

詳細はHP、
又はお電話でお問合せ下さい

会員特典	法人会員	サークル 会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○		○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 ^{*1}	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 ^{*2}	○	○	○	○	○

^{*1}一部対象外もございます。^{*2}東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%^{*}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。^{*}

^{*}但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

不動の信頼を集める、舞台裏の大黒柱

山本 聡

YAMAMOTO Satoshi

[ステージマネージャー]2002年5月入団

趣味:ポケモンGO、散歩



©N.Ikegami

きっかけは熱意と人とのつながり

友人から誘われて中高と吹奏楽部に入部。高校生のときにはチューバを担当、その時に指導してくださっていたのが、東響のメンバーのお知り合いだったのです。大学進学の際に東響のステージアルバイトを紹介してもらい、入学式よりも前に、東響の練習場に行きました。様々な現場に呼んでいただけたことで、東響のステージで働く時間がどんどん増えていきました。

大学生活も後半になり、ステージマネージャーとしての進路を模索するも、ご縁に恵まれず断念。数年間一般企業に勤めたのち、「戻ってこないか」とお声がけを頂いて、現在に至ります。今考えると、一度別業界に身を置いたことで、ステージ業務を多方面からみることができるようになったので、良い経験だったと思います。

演奏会の裏側

ステージマネージャーの仕事は大きく「①楽器の手配②運搬③舞台設営④進行」の4つに分類できます。最初の3つは想像しやすいかと思いますが、実は④が最も大きい業務です。

「進行」と一口で言っても、演奏会が始まるときにドアを開閉しているだけではありません。例えば、カーテンコールに

何回応えるかを見極めるのはステージマネージャーの仕事の一つ。舞台と客席の温度感をその場で判断し、対応しています。他にも、舞台上や楽屋での「ちょっと暑いな」「水が欲しい」や「トイレトペーパーが切れている!」といったことまで、舞台まわりでおこること全てに対応する、それが私たちの仕事です。



指揮者、ソリストの送り出し。

皆が気づかないちょっとした気遣い

私たちステージマネージャーは、出演者に「昨日のリハーサルと少しちがうな」といったストレスが生じないように準備をします。ちょっとした気遣いを張り巡らせることで、出演者が安心して過ごせる舞台を作ることができます。

基本はルールに忠実に、折り目正しく。そこに、これまでの経験も踏まえて。同じ考え方で今日も舞台を作ります。

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

楽 団 人 事

2025年1月6日付

塩谷しずか SHIOYA Shizuka [第2ヴァイオリン奏者]

1985年に入団し、再雇用を経て約40年に渡り活動いたしました。今後は事務局長として活動いたします。

新 入 団

2025年1月1日付

渡辺沙羅 WATANABE Sara [ハープ奏者]

退 団

2025年3月3日付

新澤義美 NIIZAWA Yoshimi
[打楽器奏者]

1986年に入団し、再雇用を経て約39年に渡り活動いたしました。

2025年3月31日付

相澤政宏 AIZAWA Masahiro
[首席フルート奏者]

1989年に入団し、約36年に渡り活動いたしました。

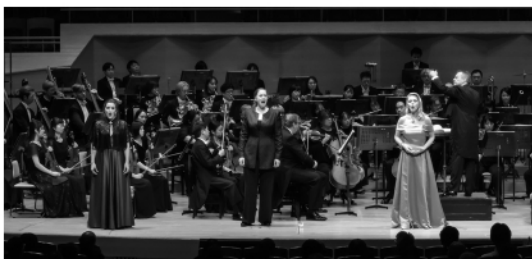


Report 「R.シュトラウス・コンサート・オペラ・シリーズ」遂に完結 《ばらの騎士》が完売御礼で終演

2022年から三年間に渡って取り組んだ《R.シュトラウス・コンサート・オペラ・シリーズ》の第3弾として、第一線で活躍する歌手陣を迎えた《ばらの騎士》。2024年12月13日にサントリーホール、15日にミュゼザ川崎シンフォニーホールにて開催し、両日ともに完売御礼で幕を閉じました。



4時間に及ぶ大作をまとめあげた、
音楽監督ジョナサン・ノット



(右から)ミア・パーション[元帥夫人]、カトリオーナ・モリソン[オクタヴィアン]、
エルザ・フノワ[ゾフィー]が美しい三重唱を響かせる



熱気も最高潮に、鳴りやまない拍手に応えるカーテンコール

来年のニューイヤーコンサートは…ショパンのピアノ協奏曲で華麗に幕開け!

2026年

1/10 (土) 14:00 サントリーホール

指揮: 秋山和慶

ピアノ: 小山実稚恵

ショパン: ピアノ協奏曲 第1番
ドヴォルザーク:
交響曲 第9番「新世界より」



©稲田力丸



©Tomoko Hidaki

SSシングル¥9,000 SSペア¥16,000 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000

東響会員先行発売: 7/8(火)10:00 ~ オンライン先行発売: 7/10(木) 10:00 ~ 一般発売: 7/17(木) 10:00 ~

GWは家族みんなでオーケストラ体験!

キッズプログラム 0歳からのオーケストラ〜ズーラシアンブラス meets 東京交響楽団〜

2025年

4/29 (火・祝) 11:00 / 14:30 (1日2回公演)
ミュゼ川崎シンフォニーホール

指揮: 水戸博之、オカビ

金管五重奏: ズーラシアンブラス

J.ウィリアムズ: ハリーポッターより

「ヘドウィグのテーマ」ほか

大人¥3,500 こども(中学生以下) ¥1,500



東響会員先行発売: 2/5(水) 10:00 ~ オンライン先行発売: 2/10(月) 10:00 ~ 一般発売: 2/13(木) 10:00 ~

チケット送料ご負担のおねがい

郵便料金の値上げに伴い、2025年4月1日より、チケットの送料を変更させていただきます。お客様にはご負担をおかけいたしますが、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

2025年3月31日(月) 18:00までのお申込み

送料: 楽団負担

2025年4月1日(火) 10:00以降のお申込み

送料: お申込み1件あたり110円
(普通郵便料金) お客様負担

※お電話でのお申込みのほか、定期会員券ご継続の際のチケット送料も対象とさせていただきます。

「音楽のまち・かわさき」で ミニコンサートを開催

東京交響楽団は、「音楽のまち・かわさき」を推進する川崎市とともに、福祉施設、病院、学校など市内各所で楽団員によるミニコンサートを開催しています。様々な理由で普段ホールに来場できないお客様へ向けて、音楽をより身近に感じていただけるよう、会場のニーズに合わせて構成した親しみやすいプログラムとお話で、地域に根ざした活動を進めています。2024年12月までのコンサートでは、川崎市立井田病院、障害福祉サービス事業所ナーシングピア子母口、川崎市北部地域療育センター、社会福祉法人育桜福祉会こぶし園の4ヶ所にて、弦楽四重奏や木管五重奏の演奏をお届けしました。



川崎市立 井田病院にて弦楽四重奏

ノット×東響「東京・春・音楽祭」に出演

国内最大級のクラシック音楽の祭典「東京・春・音楽祭」に、音楽監督ジョナサン・ノットと東京交響楽団が出演いたします。2025年4月18、20日、東京文化会館にて【《こうもり》(演奏会形式)】。ぜひご期待ください。

NEXT PROGRAM

4/5 第729回 定期演奏会 (土) 18:00 サントリーホール

※4/6(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホールでも同プログラムで開催

指揮: ジョナサン・ノット

ブルックナー: 交響曲 第8番 八短調 WAB108

S¥9,500 A¥7,500 B¥6,500 C¥4,500 P¥3,500



4/12 東京オペラシティシリーズ 第144回 (土) 14:00 東京オペラシティコンサートホール

指揮: ジョナサン・ノット

ホルン: 上間善之、加藤智浩、白井有琳、
藤田麻理絵、松坂隼、鈴木優、
庄司雄大、伴野涼介

バリトン: ロビン・アダムス

ラッペンマン: マイ・メロディーズ ~8本のホルンと管弦楽のために

マーラー: 「子供の魔法の角笛」より

高い知性への賛歌、ラインの伝説、番兵の夜の歌、
魚に説教をするパドヴァの聖アントニウス、死せる鼓手、少年鼓手

マーラー: 花の章

S¥8,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500



TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511 (平日10:00~18:00 / 土日祝休)

選べるプラン・1回券 東響会員先行発売: 1/21(火) オンライン先行発売: 1/24(金) 一般発売: 1/29(水)

5/18 新潟定期演奏会 第141回 (日) 17:00 りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

※5/17(土) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホールでも同プログラムで開催

指揮: 下野竜也

スメタナ: 連作交響詩「我が祖国」

S¥6,500 A¥5,000 B¥3,500 C¥2,500 D¥1,500



次回の新潟
定期演奏会は...

©Nanako Ito

りゅーとぴあチケット専用ダイヤル 025-224-5521 (11:00~19:00 / 休館日除く)

東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ

公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開。教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出されるなど各メディアで絶賛された。

桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。



The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. Elektra in Concert Style(2023) won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of Salome in Concert Style(2022) on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 80 concerts in 59 cities since 1976. Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 as Toho Symphony Orchestra, and changed its name to Tokyo Symphony Orchestra in April 1951, and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・
高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
【TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION】
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE
Symphony

Symphony 2025年(令和7年)1&3月号 [非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764
<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310
ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネススクリエット